

平成21年度知的クラスター創成事業（グローバル拠点育成型）
審査委員・専門評価員一覧

審査委員：審査委員会を構成し、産学連携・マネジメント面を主に評価。研究開発面は、専門評価員による評価結果を参考に評価。

専門評価員：審査委員会のアドバイザーとして研究開発面を評価。

審査委員

氏名（五十音順）・職		
井上 潔	株式会社アーク・イノベーション	代表取締役社長
岡部 洋一	放送大学	副学長・理事
木村 千恵子	京都リサーチパーク株式会社	経営企画本部 産学公連携部 担当部長
國谷 実	独立行政法人科学技術振興機構	理事
◎清水 勇	独立行政法人工業所有権情報・研修館	理事長
竹中 修	財団法人科学技術交流財団	知的クラスター創成事業本部 事業総括
竹本 佳弘	株式会社 SeedSeek	取締役 CSO
平井 昭光	レックスウェル法律特許事務所	所長／弁護士・弁理士
山口 泰久	知財開発投資株式会社	代表取締役社長

※◎は座長。職名は平成21年6月現在

専門評価員

氏名（五十音順）・職

秋山 信彦	東海大学 海洋学部水産学科 教授
秋山 昌之	財団法人長野県テクノ財団 技術顧問
浅田 雅洋	東京工業大学大学院 総合理工学研究科 教授
石原 賢司	独立行政法人水産総合研究センター 中央水産研究所 利用加工部機能評価研究室 主任研究員
石原 達己	九州大学大学院 工学研究院 応用化学部門 教授
伊藤 嘉浩	独立行政法人理化学研究所 基幹研究所 伊藤ナノ医工学研究室 主任研究員
内田 和彦	筑波大学大学院 人間総合科学研究科 生命システム医学専攻 准教授
遠藤 和彦	独立行政法人産業技術総合研究所 エレクトロニクス研究部門 主任研究員
大野 安男	独立行政法人科学技術振興機構 JST イノベーションプラザ大阪 科学技術コーディネータ
奥山 優	財団法人栃木県産業振興センター 総合支援部産学交流支援課 コーディネータ
門脇 孝	東京大学大学院 医学系研究科 糖尿病・代謝内科 教授
川本 克也	独立行政法人国立環境研究所 循環型社会・廃棄物研究センター 資源化・処理処分技術研究室 室長
久保田 博南	ケイ・アンド・ケイジャパン株式会社 代表取締役社長
白岩 善博	筑波大学大学院 生命環境科学研究科 情報生物学専攻 教授
瀬川 浩司	東京大学 先端科学技術研究センター 教授
竹村 博文	岐阜大学大学院 医学系研究科 高度先進外科 教授
田嶋 尚子	東京慈恵会医科大学 糖尿病・代謝・内分泌内科 教授
谷 徹	滋賀医科大学 医学部医学科 外科学講座 主任教授
津志田 藤二郎	宮城大学 食産業学部フードビジネス学科 教授
中島 博司	前三重県水産研究所 所長
長沼 勝義	東海ものづくり創生協議会 クラスターマネージャー
南條 輝志男	和歌山県立医科大学 学長
野田 哲生	財団法人癌研究会 癌研究所 所長
村上 清史	財団法人北陸産業活性化センター ほくりく健康創造クラスター本部 研究統括
大和 雅之	東京女子医科大学 先端生命医科学研究所 教授
吉川 敏一	京都府立医科大学大学院 医学研究科 消化器内科学 教授

※職名は平成21年6月現在

平成21年度知的クラスター創成事業（グローバル拠点育成型）の審査基準

		評価項目		評価の視点
大項目		中項目		
1	これまでの地域の取組や成果の評価	1-a	これまでの地域の取組	<ul style="list-style-type: none"> これまでの地域におけるクラスター形成へ向けた取組等において、地方自治体、地域の民間団体、地域の大学等により、関連施策や関連事業が適切に実施されたか
		1-b	これまでの取組の成果	<ul style="list-style-type: none"> これまでの地域におけるクラスター形成へ向けた取組等において、産学官連携の基盤が構築されているか、集積の芽が創成されているか
2	クラスター形成へ向けた地域の取組の評価	2-a	クラスター形成へ向けた地域構想の明確性・戦略性	<ul style="list-style-type: none"> クラスター形成へ向けた地域構想の目的、目標は明確で、長期的視野をもった地域構想が戦略的に立てられているか 長期的な地域構想実現における本事業の位置づけ及び意義は明確で、かつ、的確なものであるか 地域構想の中に、国際競争力を持ったクラスター形成へ向けた取組が含まれているか
		2-b	地域構想の実現へ向けた地方公共団体の主体性と責任所在の明確性	<ul style="list-style-type: none"> クラスター形成へ向けた地域構想が地方公共団体の指針や重点施策に位置づけられるなど、地域構想を実現するための地方公共団体の主体的な取組が十分に期待できるか クラスター形成へ向けた地域構想の執行体制が整備されると共に、地域構想実現へ向けた責任の所在が明確になっているか
		2-c	関連施策・関連事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> クラスター形成へ向けた地域構想を実現するために、地方自治体、地域の民間団体、地域の大学等により、適切な関連施策や関連事業が十分に実施されるか 関係府省を含めた国等の施策を活用する計画であるか
		2-d	地域の自立化促進	<ul style="list-style-type: none"> 地域の自立化をより一層高めるため、地域の産学官連携により、事業終了後も、適切で持続的な地域の取組がなされることが期待されるか
3	事業実施計画の評価	3-a	達成目標・全体計画の妥当性と実現可能性	<ul style="list-style-type: none"> 地域構想の実現に向けた適切な達成目標が設定されており、研究開発、産学官連携体制整備、成果育成等の計画は妥当なものであるか 地域構想の実現に向けた適切な研究テーマが選定されると共に、研究テーマ間の関連は適切か
		3-b	事業推進体制	<ul style="list-style-type: none"> 事業総括、研究統括、事業本部長等に、核となるキーパーソンが存在するか 事業総括、研究統括、事業本部長、科学技術コーディネータ等は適材適所であると共に、人員配置を含めた中核機関の事業推進体制は十分であるか
		3-c	他地域・異分野間連携の取組	<ul style="list-style-type: none"> クラスターのポテンシャルや国際競争力を高めるために、国内外の他地域や異分野の強みを取り込む適切な取組が戦略的に実施されるか
		3-d	事業化戦略の妥当性と実現可能性	<ul style="list-style-type: none"> 目標達成に必要な事業化戦略が適切に構築されると共に、戦略を実現するために必要な事業マネジメント体制が構築されているか
		3-e	知的財産戦略の妥当性と実現可能性	<ul style="list-style-type: none"> 目標達成に必要な知的財産戦略が適切に構築されると共に、戦略を実現するために必要な事業マネジメント体制が構築されているか
		3-f	人材育成戦略の妥当性と実現可能性	<ul style="list-style-type: none"> 目標達成に必要な人材育成戦略が適切に構築されると共に、戦略を実現するために必要な事業マネジメント体制が構築されているか
4	研究開発内容の評価	4-a	研究開発ポテンシャル	<ul style="list-style-type: none"> 当該地域の大学等が他地域に比べて国際的に強み・特徴のある研究開発ポテンシャルを有しているか
		4-b	研究開発内容・計画の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 研究開発内容は、クラスター形成の観点等からみて戦略性を有しているか 研究開発に関し、具体的で明確な達成目標が設定されているか 目標達成のために解決すべき課題が明確で、課題解決に必要な研究開発計画が適切に設定されているか
		4-c	技術シーズの新規性・優位性	<ul style="list-style-type: none"> 技術シーズに、新規性や技術的優位性があるか
		4-d	事業化可能性	<ul style="list-style-type: none"> 研究開発成果の市場ニーズや優位性はあるか 研究開発成果の事業化可能性は具体的で、明確なものになっているか
		4-e	波及効果	<ul style="list-style-type: none"> 研究開発成果の地域社会や産業への波及効果が期待されるか
5	総合評価			<ul style="list-style-type: none"> 総合的に判断して国際競争力を持ったクラスターが育成されることが期待されるか 「グローバル産学官連携拠点」に選定され、かつ、産学官連携拠点整備計画に本事業が含まれる場合には考慮する